



『連合アクション！街頭行動』の実施



男女平等参画の推進、格差是正、最低賃金引上げ周知に取り組む



挨拶する今野泰会長

連合福島は、6月2日（木）17時30分より福島駅前エスタビル前にて「連合アクション県中央街頭行動」を実施した。

連合福島を代表して今野 泰会長は、「連日ロシアのウクライナ軍事侵攻が報道されている。人々の命と人権が蹂躪され、都市や日常生活は壊滅をしている。あらためて平和の尊さと大切さを実感している。一方でこれらを背景として、原油高や原材料不足、更に円安による物価高騰によって、消費者物価指数が2%を超えている。この中で取り込まれた今春闘では多くの仲間が2%の賃金引き上げを勝ち取った。しかしながら、物価上昇に歯止めがかからず生活改善には繋がっていない。未だ回復が見えない中、苦労と腐心の日々が続いている。

また、正規・非正規の雇用形態、男女間での賃金格差是正など、私達にとっての喫緊の課題は等閑にされている。本来、国の繁栄の為には経済の成長が不可欠であるが、現在は物価のみが上昇し、一部の人だけの年収が増えている大変異常で歪な事態に陥っている。政府は最低賃金1,000円以上を示すものの、中小・下請け企業への対応や支援は不透明である。連合福島は、働き方やその価値に見合った、十分に応え得る賃金水準を踏まえ、最低賃金の署名活動を今取り組んでいるところである。併せて雇用の確保、更には賃金全体の引き上げの実現を図っていく。企業の規模間格差、雇用形態格差、男女間の格差、あらゆる格差と向き合いながら、取り組みを進めて参りたい」と訴えた。



感染防止対策でチラシ配布

続いて、急遽駆けつけていただいた、立憲民主党福島県総支部連合会代表・金子恵美衆議院議員から心強い連帯の挨拶をいただき、最後に連合福島・宮本菜穂副会長より6月6日（月）～10（金）開設の労働相談ダイヤル及びメンタルカウンセリング等、連合福島の取り組みについてアピール演説をし、街頭行動を打ち上げた。

街頭行動では、感染防止上から十分なソーシャルディスタンスを確保、チラシ付ティッシュの配布は手袋を着用するなど通行される市民の理解を得た。また、立ち止まって聴講される方もあり、関心の高さが感じられた。



宮本菜穂副会長による取り組みアピール



立憲民主党県連代表金子恵美衆議院議員より連帯の挨拶